

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 大社

作成日: 平成 26 年 10 月 9 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	30	受診の付き添いや入退院時の医療機関との情報交換の対応などは施設長、看護師等一部の職員のみで対応出来る職員が少ない。対応する職員のいない時間帯や夜間の救急対応など不安がある。	いつ何時でも救急対応、入退院の対応が出来る職員の指導と確保を行なう。	受診には介護職も付き添い、医師へ状態の報告 家族への結果報告の仕方を学ぶ。 総合非難訓練で救急法を学ぶ機会があるので積極的に学ぶ。 6ヶ月
2	33	利用者の方やご家族の中にはグループホームに入所して職員と馴染みの関係が築け、安心して生活が送れていることから、たとえ重度化してもホームでの看取りを希望する方は多いが、看護職が少なく継続した医療のサービス提供が難しい。	・かかりつけ医、家族、本人、事業所が看取りに向けた話し合いを行い、共通の認識を深める。介護職も看取りについて知識を深める。 ・かかりつけ医、家族、看護職への連絡体制を整える。	事業所内で職員に対し看取り、急変時の連絡体制について勉強会やミーティングを行なう。 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5	11			ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。